令和7年度　事後評価シート

【事務事業シート】

1

当初,2月補正									
事　項	**県民文化会館管理運営委託等経費**							予算主管課	文化振興課
事　業 概　要	県民文化会館の指定管理及び事業に要する経費							始期	1986
								終期	
K　P　I	**県民文化会館の年間利用者数**								
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度
	R 4 年 度		目標値	350000 人	目標値	500000 人	目標値	650000 人	目標値 700000 人
	実績値	193070 人	実績値	304900 人	実績値	317456 人	実績値	378208 人	実績値 人
	ストック/フロー	フロー	達成率	87.1 %	達成率	63.5 %	達成率	58.2 %	達成率 %
コ　ス　ト			最終現計予算額	295238 千円	最終現計予算額	398647 千円	最終現計予算額	333168 千円	最終現計予算額 千円
			決算額	269454 千円	決算額	398618 千円	決算額	231089 千円	決算額 千円
							繰越額	84788 千円	繰越額 千円
							不用額	17291 千円	不用額 千円

7年度		
要因分析	要因 6年度からの誘致営業強化による大型会議利用の増加や新しい自主企画の集客により、前年度から約19%増となった。利用件数や利用料収入はH30年度(コロナ前)と同水準に回復した一方で利用人数はH30年度比約58%に留まっており、WEB開催普及等による催事1件あたりの来場者数減少が主な要因と考えられる。また、高齢者の定期利用が多い別館の利用人数が前年度から6,000人以上減少している。	
	総括	
見直し方向性	改善	・6年度から開始した新たな取組み(広報・誘致営業強化)により引き続き利用増を目指すほか、WEB開催普及等により会議等の直接来場者数が減少傾向にある現状を踏まえ、8年度は開館40周年を契機に、丹下建築としての価値を活かしながら「使われ続ける文化遺産」としての施設の魅力向上に取り組むこととしている。(「県民文化会館40周年魅力発信事業」) ・9年度からは、40周年の取組成果を通常の管理運営の中に落とし込み、40周年を通じてアプローチした人々の次の利用につなげていきながら、従来のコンサートや会議中心の利用だけではない「県文に足を運ぶ理由」の定着に取り組むことで、利用形態・利用者層の拡大を図る必要がある。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

2

当初,2月補正									
事　項	**生活文化センター管理委託費**							予算主管課	文化振興課
事　業 概　要	生活文化センターの指定管理及び事業に要する経費							始期	1976
								終期	
K　P　I	**生活文化センターの年間利用人数**								
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度
	R 4 年 度		目標値	95000 人	目標値	110000 人	目標値	115000 人	目標値 120000 人
	実績値	81861 人	実績値	113690 人	実績値	107900 人	実績値	104484 人	実績値 人
	ストック/フロー	フロー	達成率	119.67 %	達成率	98.1 %	達成率	90.9 %	達成率 %
コ　ス　ト			最終現計予算額	60430 千円	最終現計予算額	25949 千円	最終現計予算額	34316 千円	最終現計予算額 千円
			決算額	39268 千円	決算額	25567 千円	決算額	23835 千円	決算額 千円
							繰越額	10450 千円	繰越額 千円
							不用額	31 千円	不用額 千円

7年度		
要因分析	要因 子どもが通う教室や子育て世代のサークル、企業団体等による会議・研修会は増加傾向にあるが、高齢化による規模縮小等を理由として主に定期利用団体の利用人数が減少した結果、利用人数全体としては減少した。	
	総括	
見直し方向性	維持	6年度から定期利用団体の高齢化による活動規模縮小が利用人数減に大きく影響しているため、指定管理者と連携しながら随時課題を把握し、新規の利用拡大に継続して取り組む。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

3

当初									
事　項	**四国へんろ世界文化遺産推進事業費**							予算主管課	まなび推進課
事　業 概　要	四国他県、関係団体と連携しながら、四国遍路の札所や遍路道、遍路文化の世界文化遺産登録に向けた取組みを行う。							始期	2009
								終期	2029
Ｋ　Ｐ　Ｉ	**県内札所の史跡指定数**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度
	Ｒ４年度		目標値	8 件	目標値	9 件	目標値	10 件	目標値 13 件
	実績値	7 件	実績値	8 件	実績値	9 件	実績値	10 件	実績値 件
	ストック/フロー	ストック	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率 %
コ　ス　ト			最終現計予算額	28491 千円	最終現計予算額	42599 千円	最終現計予算額	43983 千円	最終現計予算額 千円
			決算額	23123 千円	決算額	32528 千円	決算額	40328 千円	決算額 千円
							繰越額	千円	繰越額 千円
							不用額	3655 千円	不用額 千円
7年度	要因分析	要因							
		総括							
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、8年度以降も計画的に札所の調査を進めることとしていることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。						

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

4

当初,2月補正									
事　項	**子ども芸術祭開催事業費**							予算主管課	文化振興課
事　業 概　要	えひめこどもの城の児童館としての特性や豊かな自然と広大な敷地を最大限活用し、自然の中での創作や鑑賞等を通じて、子どもたち一人ひとりの個性を伸ばし、新たな可能性の発見を目指すとともに、芸術を愛する心を育み情操を豊かにし、もって児童の健全育成を図る。							始期	2016
								終期	2026
Ｋ　Ｐ　Ｉ	**子ども芸術祭応募作品数**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度
	Ｒ４年度		目標値	作品	目標値	作品	目標値	140 作品	目標値 作品
	実績値	114 作品	実績値	作品	実績値	作品	実績値	996 作品	実績値 作品
	ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	711.4 %	達成率 %
コ　ス　ト			最終現計予算額	4594 千円	最終現計予算額	4568 千円	最終現計予算額	31088 千円	最終現計予算額 千円
			決算額	4548 千円	決算額	4565 千円	決算額	23254 千円	決算額 千円
							繰越額	7754 千円	繰越額 千円
							不用額	80 千円	不用額 千円
7年度	要因分析	要因							
		総括							
	見直し方向性	維持	準備年からつながるワークショップの開催により、開催期間の来場者等も例年より増加し、確実に子ども芸術祭へ関わる人数が増加しており、見直し等は想定していない。						

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

5

当初,2月補正										
事　項	**子ども芸術祭開催事業費**								予算主管課	文化振興課
事　業 概　要	えひめこどもの城の児童館としての特性や豊かな自然と広大な敷地を最大限活用し、自然の中での創作や鑑賞等を通じて、子どもたち一人ひとりの個性を伸ばし、新たな可能性の発見を目指すとともに、芸術を愛する心を育み情操を豊かにし、もって児童の健全育成を図る。								始期	2016
									終期	2026
Ｋ Ｐ Ｉ	**子ども芸術祭に参加した人数**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度	
	Ｒ４年度		目標値	人	目標値	人	目標値	8000 人	目標値	人
	実績値	人	実績値	人	実績値	人	実績値	8008 人	実績値	人
	ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	100.1 %	達成率	%
コ　ス　ト			最終現計予算額	4594 千円	最終現計予算額	4568 千円	最終現計予算額	31088 千円	最終現計予算額	千円
			決算額	4548 千円	決算額	4565 千円	決算額	23254 千円	決算額	千円
							繰越額	7754 千円	繰越額	千円
							不用額	80 千円	不用額	千円
7年度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	準備年からつながるワークショップの開催により、開催期間の来場者等も例年より増加し、確実に子ども芸術祭へ関わる人数が増加しており、見直し等は想定していない。							

※令和6年度までの予算･決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

6

当初										
事　項	**美術館展示事業費**								予算主管課	まなび推進課
事　業 概　要	美術館において企画展及びコレクション展を開催する。								始期	1999
									終期	
Ｋ Ｐ Ｉ	**企画展・コレクション展等の観覧者数**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度	
	Ｒ４年度		目標値	164000 人	目標値	146000 人	目標値	173000 人	目標値	178000 人
	実績値	140162 人	実績値	89663 人	実績値	134465 人	実績値	125869 人	実績値	人
	ストック/フロー	フロー	達成率	54.67 %	達成率	92.1 %	達成率	72.8 %	達成率	%
コ　ス　ト			最終現計予算額	90607 千円	最終現計予算額	66752 千円	最終現計予算額	51482 千円	最終現計予算額	千円
			決算額	79947 千円	決算額	64452 千円	決算額	51431 千円	決算額	千円
							繰越額	千円	繰越額	千円
							不用額	51 千円	不用額	千円
7年度	要因分析	要因	本館荷物用エレベーター改修工事（R8.1～3）に伴い、ゼロ円出資を除く企画展の実施回数が６年度に引き続き減少したこと（５年度：５、６・７年度：３）により、未達成となった。 なお、所蔵品を活用したコレクション展の観覧者数については、内容や周知方法の工夫等により、増加している。（６年度：20,492人、７年度：29,103人）							
		総括								
	見直し方向性	改善	金曜ロードショーとジブリ展をはじめとした８年度開催予定の企画展は、大いに集客が期待できる。また、実行委員会を構成する報道機関も番組内紹介やCM・紙面広告など告知に努めることとしているため、来館者の新規掘り起こしを行い、更なる成果の向上につなげる。特に、写真撮影やSNS投稿が可能な展覧会は伸びがみられる傾向があるため、関係者と協議の上、積極的に推進するとともに、文化観光推進事業の一環として取り組んでいる館独自の展示であるコレクション展観覧者の更なる増加にも、文化観光拠点施設としての魅力向上や機能強化を通じて努めていくこととしている。							

※令和6年度までの予算･決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

7

当初									
事　項	**美術館文化観光推進事業費**							予算主管課	まなび推進課
事　業 概　要	美術館を中核とした文化観光推進拠点計画に基づき、開館30周年となる令和10年度に向け、文化観光拠点施設としての魅力向上や機能の強化を進め、本県における文化観光の振興を図る。							始期	2022
								終期	2027
Ｋ Ｐ Ｉ	**美術館の利用者数**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度
	Ｒ４年度		目標値	360000 人	目標値	320000 人	目標値	380000 人	目標値 390000 人
	実績値	335894 人	実績値	478304 人	実績値	347684 人	実績値	340906 人	実績値 人
	ストック/フロー	フロー	達成率	132.86 %	達成率	108.7 %	達成率	89.7 %	達成率 %
コ　ス　ト			最終現計予算額	5991 千円	最終現計予算額	74250 千円	最終現計予算額	74828 千円	最終現計予算額 千円
			決算額	5822 千円	決算額	43647 千円	決算額	61104 千円	決算額 千円
							繰越額	千円	繰越額 千円
							不用額	13724 千円	不用額 千円

7年度		
要因分析	要因 本館荷物用エレベーター改修工事（R８.１～３）に伴い、ゼロ円出資を含む企画展の実施回数が６年度に引き続き減少したこと（５年度：７、６・７年度：４）、また、1か月間程度すべての展示室を閉室していたことなどにより、未達成となった。 なお、おでかけ美術館による出張展示や展示室の閉室期間中のエントランス展示を実施するなど、工事期間中も県民にコレクションに親しむ機会を変わらず提供できるよう努めたほか、コレクション展の観覧者数については、内容や周知方法の工夫等により増加した。（６年度：20,492人、７年度：29,103人）。	
	総括	
見直し方向性	維持	８年度は、金曜ロードショーとジブリ展をはじめとした７本の企画展（ゼロ円出資含む）を予定しており、加えて文化観光推進拠点計画に基づいた魅力向上や機能強化を引き続き行っていくことから、KPIは目標達成すると考えられるため、８年度の執行方法や９年度予算の見直しは想定していない。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

8

当初,2月補正									
事　項	**美術館管理運営費**							予算主管課	まなび推進課
事　業 概　要	美術館の維持管理等を行う。							始期	1970
								終期	
Ｋ Ｐ Ｉ	**美術館の事故等発生件数**								
	KPI種別	下がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度
	Ｒ４年度		目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値 0 件
	実績値	件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値 件
	ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率 %
コ　ス　ト			最終現計予算額	171975 千円	最終現計予算額	185305 千円	最終現計予算額	461375 千円	最終現計予算額 千円
			決算額	152376 千円	決算額	162415 千円	決算額	287446 千円	決算額 千円
							繰越額	133005 千円	繰越額 千円
							不用額	40924 千円	不用額 千円

7年度		
要因分析	要因	
	総括	
見直し方向性	維持	７年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、８年度以降も事故等が発生することのないよう努めることとしていることから、８年度の執行方法や９年度予算の見直しは想定していない。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

9

当初,2月補正	事　項	萬翠荘管理運営委託等経費	予算主管課	文化振興課
	事　業 概　要	萬翠荘の指定管理及び事業に要する経費	始期	2009
			終期	

萬翠荘の年間入館者数

KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
K P I	R 4 年 度	目標値	85000 人	目標値	100000 人	目標値	105000 人	目標値	110000 人
実績値	72674 人	実績値	88514 人	実績値	94139 人	実績値	99251 人	実績値	人
ストック/フロー	フロー	達成率	104.13 %	達成率	94.1 %	達成率	94.5 %	達成率	%
コ ス ト		最終現計予算額	34413 千円	最終現計予算額	28312 千円	最終現計予算額	29426 千円	最終現計予算額	千円
		決算額	34208 千円	決算額	28135 千円	決算額	28210 千円	決算額	千円
						繰越額	1210 千円	繰越額	千円
						不用額	6 千円	不用額	千円

7年度		
要因分析	要因	インバウンド観光客や、撮影スポット等の会場としての利用は増加したが、ピアノの発表会やコンサートなど、少人数の利用客を見込むイベントが全体的に多かったため、KPI達成には至らなかった。
	総括	
見直し方向性	改善	萬翠荘の利用者層は、建築や歴史に興味のあるシニア層と、撮影スポットやお見合い会場として利用する若年層に二分化している傾向があるため、８年度の執行から、指定管理者と連携し、それぞれの層をターゲットとした自主企画を展開する。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

10

当初	事　項	県民総合文化祭開催事業費	予算主管課	文化振興課
	事　業 概　要	芸術文化から産業分野にわたる幅広いアマチュア文化の祭典「県民総合文化祭」を開催する。	始期	1988
			終期	

県総合文化祭の参加人数

KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
K P I	R 4 年 度	目標値	155000 人	目標値	160000 人	目標値	165000 人	目標値	170000 人
実績値	149904 人	実績値	63682 人	実績値	198923 人	実績値	235557 人	実績値	人
ストック/フロー	フロー	達成率	41.09 %	達成率	124.3 %	達成率	142.8 %	達成率	%
コ ス ト		最終現計予算額	38984 千円	最終現計予算額	39215 千円	最終現計予算額	38844 千円	最終現計予算額	千円
		決算額	38079 千円	決算額	38387 千円	決算額	38429 千円	決算額	千円
						繰越額	千円	繰越額	千円
						不用額	415 千円	不用額	千円

7年度		
要因分析	要因	
	総括	
見直し方向性	維持	多くの新規参加者が見込まれるオープニングイベント等の大規模イベントにおいて、他の個別イベントや主催団体の魅力をPRする場を設けたり、オンライン配信も積極的に活用するなど、引き続き参加者数の増加に取り組む。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

11

当初,2月補正	事　項	愛顔感動ものがたり魅力発信強化事業費	予算主管課	文化振興課
	事　業 概　要	本県が提唱する「愛顔」にちなんだエピソード、写真、映像作品を募集し、受賞作品を広く県内外に発信することにより、本県のイメージアップを図るとともに、文字、写真、映像制作、朗読等の文化活動に親しむ機会を県民に提供し、文化の力を生かした地域活性化を図る。	始期	2014
			終期	2028

愛顔感動ものがたりの認知度(エピソード部門応募数)

KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
K P I	R 4 年 度	目標値	38000 作品	目標値	43000 作品	目標値	48000 作品	目標値	作品
実績値	32929 作品	実績値	36862 作品	実績値	41129 作品	実績値	44763 作品	実績値	作品
ストック/フロー	ストック	達成率	97 %	達成率	95.6 %	達成率	93.3 %	達成率	%
コ ス ト		最終現計予算額	25066 千円	最終現計予算額	23600 千円	最終現計予算額	49641 千円	最終現計予算額	千円
		決算額	21650 千円	決算額	23050 千円	決算額	22186 千円	決算額	千円
						繰越額	27109 千円	繰越額	千円
						不用額	346 千円	不用額	千円

7年度		
	要因分析	要因 SNS、県広報媒体、公募雑誌など複数の媒体を活用した広報により、7年度も全国各地から応募が寄せられ、事業全体の認知度向上に一定の効果があったと考えられるが、特に高校生以下の若年層からの応募が伸び悩み、目標達成には至らなかった。若年層に対する、より効果的な広報戦略が必要と考えられる。 総括
	見直し方向性	維持：8年度は、若年層ユーザーの多いSNSや公募サイトを活用した広報を強化し、事業の認知度向上と応募数の増加を図る。併せて、KPIを細施策KGIにより直結する「表彰式イベントの参加・閲覧数」へと見直したうえで、同イベントの広報強化と幅広い層に向けた誘客促進により、事業全体の波及効果を高め、目標達成を目指す。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

12

当初,2月補正	事　項	えひめ映像文化活性化促進事業費	予算主管課	文化振興課
	事　業 概　要	愛媛国際映画祭の成果や関係者とのつながりを生かし、本県映像文化の担い手となる人材の育成を強化・拡充するとともに、本県映像文化を支える映画館において広く県民が映像作品に接することのできる機会を充実させる。	始期	2018
			終期	2026

育成人材数

KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
K P I	R 4 年 度	目標値	人	目標値	人	目標値	60 人	目標値	80 人
実績値	人	実績値	人	実績値	人	実績値	37 人	実績値	人
ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	61.7 %	達成率	%
コ ス ト		最終現計予算額	10000 千円	最終現計予算額	1000 千円	最終現計予算額	10000 千円	最終現計予算額	千円
		決算額	10000 千円	決算額	1000 千円	決算額	4128 千円	決算額	千円
						繰越額	5000 千円	繰越額	千円
						不用額	872 千円	不用額	千円

7年度		
	要因分析	要因 事業初年度であり、具体的な内容協議に時間を要したため、十分な周知期間が確保できなかったほか、チラシ等の文面だけでは事業イメージを持ちにくく、映像制作ワークショップの参加対象者の意欲の喚起が十分でなかったと考えられるため、目標達成には至らなかった。 総括
	見直し方向性	改善：8年度の執行では、十分な周知期間を確保し、チラシやSNSによる広報に加え、対面による事業内容の具体的説明など効果的・積極的な周知を行うほか、プログラム内容をより参加しやすい形へブラッシュアップすることで、参加者の増加と更なる成果の向上につなげる。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

13 当初

事　項	子ども舞台芸術鑑賞体験支援事業費	予算主管課	文化振興課
事業概要	教育活動への支援策として、地域の伝統・文化や偉人等をテーマに通年で公演を行う「地域拠点型常設劇場」である「坊っちゃん劇場」に着目し、子どもの同劇場での鑑賞等を支援することで、子どもの学び・体験の場とするとともに、本県文化の振興を図る。	始期	2023
		終期	2028

KPI：郷土文化・偉人・舞台芸術に関心を持った子どもの人数

KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
R４年度		目標値	24000 人	目標値	48000 人	目標値	72000 人	目標値	人
実績値	人	実績値	13362 人	実績値	24540 人	実績値	33953 人	実績値	人
ストック/フロー	ストック	達成率	55.7 %	達成率	51.1 %	達成率	47.2 %	達成率	%

コスト								
最終現在予算額	76600 千円	最終現在予算額	68940 千円	最終現在予算額	55940 千円	最終現在予算額	千円
決算額	40173 千円	決算額	68937 千円	決算額	54748 千円	決算額	千円
				繰越額	千円	繰越額	千円
				不用額	1192 千円	不用額	千円

7年度

要因分析	
要因	事業の早期からの積極的な周知と、新たに演者との交流イベントを県内全域で開催するなど利用喚起に努めた結果、事業利用者からは高い満足度が寄せられた。しかし、遠方地域の学校における地理的・時間的制約やインフルエンザによるやむを得ないキャンセルなどの事情が重なり、目標達成には至らなかったと考えられる。
総括	

見直し方向性	維持	８年度当初予算において、細施策KGIに深く関わる「文化芸術活動の日常生活への浸透」に向け、舞台芸術に対するより深い関心の醸成を目指し、鑑賞に留まらず、子どもが舞台芸術に主体的に関わる環境を提供する内容へと見直したところであり、引き続き、子どもの文化芸術活動の環境整備に取り組む。併せてKPIを事業内容に沿った指標に変更のうえ、目標達成を目指す。

※令和6年度までの予算･決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

14 当初,2月補正

事　項	えひめアートプロジェクト推進事業費	予算主管課	文化振興課
事業概要	東京藝術大学と連携し、「アートベンチャーエヒメ」の更なる発展を目指して、令和10年度に国民文化祭と併せて開催する第2回フェスを見据えた県民参加型プログラムの展開及び県内各地への波及により、人と人、人と地域がアートを介して繋がる地域社会の形成を図る。	始期	2023
		終期	2028

KPI：アートベンチャーエヒメフェスの延参加者数

KPI種別	上がると良い指標	R５年度		R６年度		R７年度		R８年度	
R４年度		目標値	人	目標値	人	目標値	120000 人	目標値	人
実績値	人	実績値	人	実績値	人	実績値	120724 人	実績値	人
ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	100.6 %	達成率	%

コスト							
最終現在予算額	25937 千円	最終現在予算額	45665 千円	最終現在予算額	219600 千円	最終現在予算額	千円
決算額	25929 千円	決算額	45629 千円	決算額	159543 千円	決算額	千円
				繰越額	60000 千円	繰越額	千円
				不用額	57 千円	不用額	千円

7年度

要因分析	
要因	
総括	

見直し方向性	維持	アートを介して繋がる地域社会の形成に向けて、10年度の第2回フェスを見据え、KPIを「アートプロジェクトに関わった人数」へと見直したうえで、東京藝大と連携しながら、プロジェクトを推進しており、見直し等は想定していない。

※令和6年度までの予算･決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

15	当初	事　項	**文化活動推進費**								予算主管課	文化振興課	
		事　業 概　要	文化団体を顕彰するとともに、「中四国文化の集い」に文化団体を派遣する。								始期	1992	
											終期		
		Ｋ Ｐ Ｉ	**文化活動に対する愛媛県の後援承認件数**										
			KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度		
			Ｒ ４ 年 度		目標値	160 件	目標値	160 件	目標値	160 件	目標値	160 件	
			実績値	163 件	実績値	186 件	実績値	186 件	実績値	193 件	実績値	件	
			ストック/フロー	フロー	達成率	116.25 %	達成率	116.3 %	達成率	120.6 %	達成率	%	
		コ ス ト			最終現計予算額	918 千円	最終現計予算額	782 千円	最終現計予算額	797 千円	最終現計予算額	千円	
					決算額	785 千円	決算額	682 千円	決算額	488 千円	決算額	千円	
									繰越額	千円	繰越額	千円	
									不用額	309 千円	不用額	千円	
	7 年 度	要因分析	要因										
			総括										
		見直し方向性	維持	７年度のKPIの実績はほぼ想定通りの成果が出ており、現状のニーズを踏まえると、８年度以降もKPIは目標達成すると考えられることから、８年度の執行方法や９年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

16

当初												
	事　項	**国民文化祭開催準備費**									予算主管課	文化振興課
	事　業 概　要	令和10年度の国民文化祭開催に向け、関係団体を構成員とする基本構想策定委員会（仮称）を立ち上げ、文化祭の基本方針等を基本構想案として取りまとめるほか、先催県調査を実施し、成功に向け着実に準備を進める。									始期	2025
											終期	2028
	Ｋ Ｐ Ｉ	**基本構想（案）策定進捗率**										
		KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度		
		Ｒ４年度		目標値	%	目標値	%	目標値	100 %	目標値	%	
		実績値	%	実績値	%	実績値	%	実績値	100 %	実績値	%	
		ストック/フロー	ストック	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%	
	コ　ス　ト			最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	13281 千円	最終現計予算額	千円	
				決算額	千円	決算額	千円	決算額	8087 千円	決算額	千円	
								繰越額	千円	繰越額	千円	
								不用額	5194 千円	不用額	千円	
7年度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	8年度は、実行委員会を設立し、実施計画（案）の策定等を行うほか、広報事業等による機運醸成を図るとともに、行幸啓を賜ることを想定した関係機関との協議・調査を行うなど、着実に準備を進める。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。